

平成 28 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 30 日（土）

開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 31 分

場所：笹尾東 1 丁目集会所

参加者：男 13 人、女 14 人 計 27 人

町職員：町長、副町長、教育長、総務部長、財政課、町民課、政策課

○懇談

男性

元気老人サロンについてですが、始まってから元気老人サロンに参加する人は常連さんしか参加していないと思います。我々は元気老人サロンの案内なんかもきてないし、町から見て、かなり成果があったのかどうかをお伺いしたい。成果がなくなったから廃止する方向になっていったのかなと思いますけどどうなのでしょう。

町長

成果としてはある程度の成果はあったのではとっております。ただおっしゃられたように参加者が固定化しているというのはあるみたいですが。対象の人のほんの一部が参加しているということらしいです。そうだとすると、高齢者対策で使うお金が、対象の人に公平に行き渡るようになっていないと私は考えています。そういうことも含めて仕組みの中で地域全体が支え合えるような仕組みを作っていくことが非常に大事になってきていますので、そういうことにお金をシフトしていきたいと思っております。地域の中でみんなが享受し合えるような仕組みが必要になっていくようにシフトしたい。個人にいくのではなくて、全体が支え合える仕組みとして機能するように進めさせていただきます。

女性

どういうことをしていくか来年以降のある程度の見通しはできているのでしょうか。

町長

地域のシニアクラブの皆さんへは具体的にお話はさせていただいております。例えば介護予防では、保健師を派遣して相談事業や介護予防への指導などをさせていただきます。また、生活支援コーディネーターを地域へ派遣して、地域の中で連携して見守りなどをしっかりやりましょうといったアドバイスや相談にのっていただくこととなります。基本的には地域の皆さんがこういう風にやりたいということを引き出したいと考えています。

女性

東員町の人口ビジョンで、転入超過への転換というところで、環境整備が必要と書いてあるので、その点でお願いがあるのですが、幹線道路がぼこぼこになっていて、過去にお願いもしていたと思うのですが、笹尾西の方が先にきれいになっていますが、

真ん中の道路はまだなんです。保育園の跡地に住宅ができるとのことですが、外から人を入れることを考えると、環境整備も必要できれいにしたほうがいいのかなと思います。あと、集会所の建て替えの件ですが、父が防災隊を立ち上げて活動する中で、集会所は老朽化しているから何かあったらもたないので建て替えは必要だと言っていました。特に高齢の方は近くに一時的な避難所は必要だと言っていましたので、建て替えが必要であることは自治会の人も認識してほしいと思います。

町長

保育園の跡地は大和ハウス、トヨタホーム、ミサワハウスの3社合同で造成しています。あれは一部モデルハウスも含めて若い人に入ってもらえるような住宅にしています。この団地は高齢化していますので、若い人が入ってくるようなことをやっていき、人の循環ができるようにこれから考えていかないといけません。そういうことをやっていかないと衰退していくばかりなので、保育園跡地の住宅開発を突破口としてこれから頑張っていきたいと思います。この3社には、これから空き家のリフォームや空き地への新築建設などをしていってもらえるように話をしています。

幹線道路については、笹尾の外周道路は街路樹を切って歩道を歩きやすいようにしています。真ん中の道路はまだなので、外周道路が終わってから順次直していくことになるかと思っています。

集会所については、確かに一時避難所として活用していただくこともありうるかと思っています。2年前に特別警報が出たときに23自治会の自治会長さんをお願いして全部の集会所を開けてもらいました。近くの集会所に避難することは当然ありますので、地域の方にもそのような認識をもってもらいたいと思います。建て替えについては、自治会の皆さんの中で議論をいただければと思っています。

男性

ネオポリスは児童生徒が年々減少していて、1クラス、2クラスがやっとという状況です。在来の学校の状況はあまりわかりませんが、中学校はさすがに減らせとはいませんが、ネオポリスに3つも小学校がいるのかなという感じがします。その辺はいかがでしょうか。

教育長

児童・生徒の状況は10年、20年前に比べたらものすごく減っています。特に傾向としては城山小学校区が減っています。私も教員、教頭、校長と3回城山小学校にいましたが、教員のときは、全部5クラスで、600~800人いました。教頭になって300人、校長になって200人で減り方がすごいです。ただ傾向として城山はまだ減っていますが笹尾東小学校は2クラスか1クラスで現状維持になっています。笹尾西小学校は、一時期は120人くらいに減りましたが、今170人くらいになりましたので、少し増えてきています。小学校の統廃合につきましては、去年今年と適正規模適正配置検討委員会というのを公募しまして委員さんに来ていただいて、学校をこれからどうしていくのを検討し、答申をいただきました。その内容としては、東員町は6校小学校がありますが、複式学級、2年生3年生が16人いなくなったら一緒に授業するという

複式学級ですが、この複式の状況が予測できれば、統廃合をどうするかという検討をしていくという提言をいただきました。生まれた数で5年前から予測が立ちますので、予測ができれば統合をどうするか検討していきたいと思います。もう一つは中学校ですが、今一中が非常に老朽化していますので、一中の建て替えをどうするかという話でもでした。その提言の中で一中は5年以内に建て替えをしなければいけないという話もでており、場所をどうするかもありますが、団地の中から学校をなくすことは団地の継続的な発展がなくなることから、学校をなくすことはないという提言いただいておりますので、その提言にそっていきたいと思っております。

教育の条件整備ということで、トイレも高品質化ということから、すべてを和式から洋式にするようなことを小学校中心にやっております。エアコン等も普通教室だけではなくて、特別教室や理科室などにも配置していきながら、色々な条件整備をさせていただいています。そういうことを町外の方が聞き、東員町に入ってください方を増やしていきたいと思っておりますし、子育て支援として個人にお金を配るのではなくて、組織としてお金が使えるように、町単独の非常勤講師を22名雇わせていただき、少人数学級をするためにやっております。特に笹尾東小学校は1クラスで37～38人という人数が多い学級が多いのでそれを2つにわけて、細かい教育ができるような町単独の人員配置をとっております。保育支援員や学習支援員も80人近く雇っていますし、学校主管専門員やALTなどの人的配置もして教育の環境整備をさせていただいています。また子育て支援で4月時点では待機児童はありませんし、5歳児は、保育料も5,000円分減額しております。保育料は国の基準の4割か5割に抑えていますので、そういうところにお金を使わせていただいています。そのかわり、15年ほど続いたドイツ派遣をやめました。総合文化センターにあったプラネタリウムも修理して改修するのに1億円かかるということで、やめて展示室にしました。取捨選択して、未来に投資するというので、子どもたちのために使わせていただくように教育委員会サイドとして実現させていただいております。

女性 この集会所の件ですが、災害のマップが届いていますが、危険箇所が3箇所ありますが、その場所にこの集会所のすぐ裏も入っていますが大丈夫なんでしょうか。

副町長 国土交通省が危険箇所として災害のとき崩れないかということ、レッドゾーンやイエローゾーンとして把握しているのですが、この裏側はレッドゾーンには入っていません。ただ、見てもらうとわかるように、ストンと落ち込んでいますので、危ないとは思っています。

町長 県がきて全部調べましたが、ここは崩れる危険箇所には入っていないのですが、柵か何かをしないと落ちていく可能性もありますので、そこは危ないかなと思います。ただ、崩れる危険箇所ではありませんので、多少安心していただいてもいいかと思っております。

男性

災害の関係で、県の説明は聞かせていただきました。この集会所は大丈夫みたいなのですが、隣の3件は土砂災害警戒区域に該当します。土砂災害警戒区域のかかっている家の方に話を聞くと、斜面上に樹木が大きく育っていて、家のほうに大きくかぶさってきているそうです。そこで、町のほうへ樹木の伐採のお願いをしたそうなのですが、伐採すると雨に弱くなるんじゃないかということで、町のほうで防災について考えていただければと思います。

斜面の下のほうは他の場所には斜面から水が流れているところもありますので、昔谷だったところを埋め立てたところがあるとすると、もう一度町として調査することを検討していただきたいと思います。

町長

危険箇所については役場内で検討していきまして、災害時にどうしてお知らせをするかとか、どのタイミングでするかとかを議論している最中です。私が県会議員だったときには、急傾斜地にブロックを積んだりとか保全を随分やっていたんですが、最近では県もお金がなくなかなかやってもらえません。国や県が危険箇所を指定するなら直してくれと思うんですが、なかなか対応していただけない。我々も常に準備をしておく、警報時は見回り等の対応はしなければならぬと思います。今議論をしていますのでもう少し時間をいただければと思います。

男性

あるところでは耳をあてて聞くと水の音がするんです。石垣でも崩れる可能性があります。昔の川の跡です。私の家から西側は昔泥地帯でした。地盤沈下して建て替えた家もあるんです。一回笹尾地区全体を調査して欲しいと思います。

それと桑名市や木曾岬町が災害にあうとこちらに避難してくるのでそれも考えないといけない。

防災の隊員になると、笹尾東1丁目では、防災服と長靴を防災の1/2負担してもらって補助金で購入して支給していたのですが、某議員が文句言ってきたんで自治会の予算に口を出さないように言っってもらいたい。あと、補助金の申請をする時、あれはあかん、これはあかんと言わんといいたい。よろしくお願いします。

副町長

地盤の関係は、建設課で一度現場を見に行かせていただきたいと思います。議員さんについては私共からはどうこう言えませんので御理解ください。

男性

2月に町議会選挙がありましたが、立候補予定者の公開討論会を始めて開催しましたが、あの企画に私も関わらせていただきました。次回の町議会選挙、または町長選挙で、プラムチャンネルで候補者の紹介とか、公開討論会を放送できないでしょうか。

総務部長

公職選挙法で、政見放送を出来る選挙が限られていまして、衆議院、参議院、知事、県議会議員選挙は出来るのですが、町長選挙、町議会選挙は出来なかったと記憶しています。公開討論会については、住民の皆様の自由な民意でして頂くぶんにはいいの

ですが、それを選挙管理委員会で取り仕切るといふ仕組みはないんです。公益財団法人明るい選挙推進協会という団体が民間の皆様と協力しながらやっただいていふというのが現状です。

男性 候補者の意見というのが分かりづらく、ただ名前を連呼するだけ、ポスター見ても何を考えているか分からない。告示から5日間ぐらいしかありませんから、印刷、配布の期間を考えると、プラムチャンネルでの放映とか公開討論会しかないのかなと思います。あと2、3年ありますので何か出来ることを検討していただければありがたいと思います。

町長 私は選ばれる立場の人間ですので、言う資格があるのかないのか分かりませんが、私は選ぶ方がどういふ基準で選ぶのかきちんと見極めるためには、きちんと情報を流さないといけないと思っています。杓子定規なことを言っていたらいけないと思います。選挙管理委員は、住民の皆様候補者の判断基準を提示しなければならない。分かってもらうために何が出来るかきちんと考えなければならない。昨年の町長選挙の公開討論会の話が出たとき、私は是非やってもらいたいというお話をしました。事情があつて開催されませんでした、選ばれる方はきちんと出て自分の意見を分かってもらえるように努力をしなければいけないと思っています。公開討論会をプラムチャンネルで放送するとか考えられると思うんです。それが可能かどうか、今は分かりませんが、これから調べさせていただきます。

女性 身近な問題で、空き家対策をしてもらいたいと思います。現に、空き家の影から人の家を覗いているということがありました。建設課に言つて見に来てくれはしたんですが、それだけでなしのつぶてなんです。そういう家が私の班には何件かあるんです。

町長 空き家は全国で13.6%くらいなんです。ただ東員町は6%くらいで全国の半分くらいです。ただ、そうはいつても600軒くらいあります。その中には、定期的に見に来て掃除して帰られるという家もあります。では、本当の空き家というのは何かなのを考えました。それを私達は、水道が完全に止まっている家だと考えました。水道を止めているということは、当分住まないということだと考えて調べた結果、142軒ありました。その内18軒は壊してもらわないと危ないというもので、124軒は使えるのに使っていない空き家でした。これをどう使っていくかを検討しています。団地については出来るだけリフォームして売っていきたい。ただ、行政から空き家の持ち主に連絡しても、そのうち草刈りするとか言つてずっと放つておく人がいるんです。私が就任した5年前に、笹尾西4丁目に道路まで木が伸びてきて庭は草が伸び放題の空き家がありました。何度も持ち主に連絡するんですが、何にもしてくれないんです。実は我々が庭に入って木を切ったりすると、不法侵入になってしまうので二の足をふんでしまうんですが、この時は現場を見に行つてどうしようもないので、何かあつた

ら責任は私が取るといってやりました。幸い訴えられませんでした。5年経ってまた元通りになってきました。個人の持ち物なので、我々がとれる対策には限界があるんです。その辺はご理解をいただきたいんです。我々も精一杯のことをやらせていただこうと思っています。